Psathyropus tenuipes

環境省ランク:NT

種の概要

北海道、本州、四国、九州、隠岐諸島に分布する。体長5~6mm程度。体は灰から暗褐色で腹部第2背板上にやや短めの1棘がある。海岸の海蝕崖や海蝕洞、海岸建造物の物陰などに生息する。

主要な選定理由

人為性			生息環境 の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
	\circ		0	\circ			0

県内分布

豊岡市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。豊岡市の海岸のみで記録されている。

保護上の留意点

西日本での記録は海岸や河川感潮域に限定されているので県内でも潜在的に生息が示唆されるが、開発埋め立てや人工海岸化などで生息適地が著しく減少している。



